

敷地全景:右側より研修・管理棟、学生寮棟(旧教室棟)、新学生寮棟が並ぶ。左側の空地が新教室棟の建設予定地。



研修・管理棟:現職スタッフの研修施設。県保健局が管理している。



食堂: 教室不足のため、一時的に教室として使用されている。



学生寮(旧教室棟):現在40名の生徒が滞在。



食堂内部:現在、授業はこの仮教室のみで行われている。



新学生寮棟: ADBの支援により 2004年4月に完成予定



キッチン:生徒の食事は全てここで作られている。





教室棟内部:開口部は出入口のみで薄暗い。

教室棟: UNESCO より世界遺産指定地域内の最重要保存建築物として登録されているが、本件で教室棟としての改修を行う。



教室棟小屋組:一部シロアリにより腐食している。



教室棟廊下



図書室棟:図書室、実験室、職員室、倉庫で構成されている。



実験室:顕微鏡が故障しているため、ほとんど使用されていない。



男子学生寮内部



新実習棟建設予定地



敷地全景:中央の建物が事務管理棟、左手が改修予定の教室棟、管理棟右手のスペースが新教室棟の建設予定地。



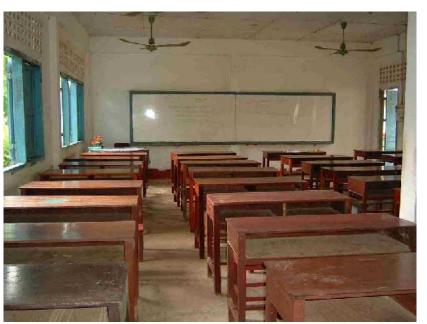
学生寮棟



教室棟:壁面にクラックが見られる。本件で改修予定。



教室棟小屋組:蟻道があり、腐食が進んでいる。



教室棟内部:以前3教室だったものを、2教室として使用している。



会議室棟:実習室、図書室、会議室他で構成される。



実習室内部:狭い部屋に機材が並んでおり、窮屈である。



図書室内部:書架のみで閲覧する場所はない。